

| | |
|---------|--|
| 研究課題名 | 造血器腫瘍における遺伝子異常の網羅的解析 |
| 所属 | 長崎大学病院 血液内科 |
| 研究責任者 | 宮崎 泰司（職名：教授） |
| 共同研究機関 | <p>【研究代表機関】 京都大学医学研究科 腫瘍生物学 教授 小川 誠司</p> <p>【共同研究機関】 佐世保市総合医療センター 血液内科 管理診療部長 森内 幸美</p> <p>他多数共同研究機関がありますが、詳細は研究代表機関のホームページ、 http://plaza.umin.ac.jp/kyoto_tumorpatho/info_research.html の『造血器腫瘍における遺伝子異常の網羅的解析』をご覧ください。</p> |
| 研究期間 | <p>本研究はヒトゲノム・遺伝子解析研究倫理審査委員会で審査され、長崎大学学長の許可を得て実施しています。</p> <p>長崎大学学長許可日 2016年11月29日～2020年3月31日</p> |
| 研究目的と意義 | 造血器腫瘍の発症の原因となる遺伝子を見つけだすと同時に、血液がんの重症度や進み具合、また治療に対する反応性などを、遺伝子を調べることにより正確に診断できるようにすることを目的としています。 |
| 研究内容 | <p>●対象となる患者さん 造血器腫瘍を発症している患者さん。具体的には、急性骨髄性白血病、慢性骨髄性白血病、骨髄異形成症候群(夜間血色素尿症や再生不良性貧血などの骨髄不全を含む)、骨髄増殖性疾患、急性リンパ性白血病、慢性リンパ性白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、POEMS 症候群が対象になります。</p> <p>●利用する情報／試料 診療目的に採取された骨髄血、末梢血、リンパ節組織等の検体の残り。診断名や年齢、性別、検査結果などの診療情報を利用します。 利用する情報・試料について詳しくお知りになりたい方は下記のお問い合わせ先までご連絡ください。</p> <p>●研究方法 上記情報と検体は個人が特定されないよう氏名などの個人情報削除し、研究代表機関である京都大学 腫瘍生物学講座へ送付されます。 そこで DNA や RNA という物質を取り出し、遺伝子の配列情報などを解析し、病気の発症に関与するとされる遺伝子異常の有無を明らかにします。これらの遺伝子異常と症状や治療経過との関係などについても解析します。</p> |
| 問い合わせ先 | <p>研究に関するご質問等がある場合には下記へお問い合わせください。</p> <p>【問い合わせ先】 長崎大学病院 血液内科 宮崎 泰司（職名：教授） 住所：長崎市坂本1丁目7番1号 電話：095（819）7380 FAX 095（819）7538</p> |